

発行人 / 学園町自治会会長・萩野晶子
企画編集 / 学園町自治会広報委員会
編集長 / 浜名 純
投稿・連絡先 / 学園町1丁目14番地31号
電話 / 090-6005-7887

学園町 かわら版

109号

毎月の第1・第3・第5月曜日は
学園町自治会の資源物回収の日。
自治会の収益となりますので、
ぜひご協力ください。

購読無料・各戸配布 / 隔月刊行

市立第五小学校

創立60周年を祝って「谷川俊太郎さん集会」

今年10月31日に創立60周年を迎える東久留米市立第五小学校（通称、五小）。二学期からは60周年の取り組みが目白押しですが、その第一弾として9月21日、「谷川俊太郎さん集会」が同校体育館で開催されました。谷川俊太郎さんは日本を代表する詩人で、五小の校歌を作詞した人です。集会には、俊太郎さんのご子息の作曲家・ピアノリストの谷川賢作さんが参加、今年92歳の俊太郎さんはビデオレターで児童らと交流しました。

五小が創立したのは1964（昭和39）年。成見歳雄初代校長が、けやきの木を五小のシンボルにしました。そして、校歌の作詞を俊太郎さんに依頼し校歌ができたという事です。

一、まっすぐにのびて けやきのこずえは宇宙をゆびさす ふしぎなことがいっぱい さわつてみたいあの青空
二、たくましくたつて けやきのねこは地球にふんばる 知らないことがいっぱい 旅してみたいいろんな国へ
三、いつまでもみどり けやきの並木はやさしいふるさと たのしいことが



いっばい まもつていこう平和な世界
久留米第五、久留米第五、久留米第五
小学校

というのがその歌詞です。

この日の集会に参加してくれた賢作さんは、1996年に父・俊太郎さんの現代詩を歌うグループ「Divia」を結成、俊太郎さんと一緒に各地で音楽と朗読のコンサートを行ってきました。また、ジャズをベースにポップス、童謡・ラテンまでジャンルにとらわれず、古今東西の曲を演奏するバンド「リヤーン」を結成し各地でライブを開いています。パリヤーンとはポルトガル語でピエロ、道化師の意味だそうです。一方、市川崑監督映画のほとんどを手がけるなど作曲家としても活躍しています。日本アカデミー賞優秀音楽賞や第40回アジア太平洋映画祭最優秀音楽賞（1955年）など数々の賞を受賞しています。

60周年を祝って賢作さんから五小の皆さんに谷川俊太郎作の絵本『へいわとせんそう』、賢作さんの作曲した『うたはいつもそこにいて』のCD3枚がプレゼントされました。



集会は、賢作さんによる父・俊太郎さんとの関わりについての話から始まり、小学校はきらいではなかったけど、行きたくない日もあるよね。

そんな時、おとうさんが小さなバイクの後ろに私を乗せて学校まで送ってくれました。行けばおもしろいことあるよ、と言って「日本人は人前で家族や身内のことをほめないけど、父はそうではなかった。私がプロの音楽家になった頃、関係者に、こいつはいい曲を書くし、抜群に音楽の才能があるなんてほめちぎってくれるんです」「父は高校を卒業していません。先生とケンカしたのが原因ですが、なんとか定時制を出しました。私も大学に行っていない人が、そういうことにはこだわらない人で、人に祭り上げられたりするのは嫌でした。偉大という言葉が似合わない反骨指針の人です」といったエピソードが披露されました。

次いで、「5、6年生による合同の呼びかけ」がありました。五小では、一学期に全学年が「生活科・総合的な学習の時間」の授業で、五小の歴史や五小の周りの地域について学習してきましたが、それを5、6年生が代表して発

表しました。今では児童数820名の市内最大の小学校となった五小が地域とともに60年間歩いてきたこと、そして、これからも恵まれた自然の中で地域の人と交流を深め、真つすぐ伸びて広がるけやきのように世界に羽ばたいていこうと力強く宣言しました。

ビデオレターで登場した俊太郎さんは、「校歌の作詞に五小に来た時、とても新鮮な感じを持ちました。とくにけやきが印象的で、けやきという木をイメージして書くことをすぐ決めました。子ども達が楽しんで歌えるようないい歌にしたいと思った」と語りました。その後、俊太郎さん作詞、賢作さん作曲の歌や、手塚治虫が俊太郎さんに歌詞を依頼した鉄腕アトムの主題歌を賢作さんがピアノを弾きながら歌い、最後は賢作さんの伴奏で、全員で校歌を大合唱して終わりました。

敬老の日、今年もお赤飯を配りました

敬老の日の9月16日（月）、学園町自治会恒例の赤飯配りを行いました。今年70歳を迎えた人と77歳以上の人に配るもので、今年は220人。昨年より2人減少しました。

配布所となった自由学園しののめカフェには、午前10時から、各組の組長さんが訪れ、赤飯を持ち帰ってくださいました。この赤飯配りは、お年寄りの様子を確認する意味もあり、組長さんらはさっそく一軒一軒の家に届けました。また、来れなかった組長さん宅には自治会の役員がお届けしました。

ネーバーフッドデザイン物語 人のつながりが輪になって ジャガイモの収穫へと結実

学園町の緑豊かな環境に魅せられて、この町に引っ越ししてきたご家族がいました。その家族が町内のいろいろな人と繋がって、もう一つの家族と一緒に町内の畑で作物や野菜を栽培するようになり、そして今年6月、初めてジャガイモを収穫することができました。多くの人がつながって一つの輪になり収穫へと結実したのです。そんな物語を紹介します。

北本直裕さん・晴香さん夫妻が学園町2丁目引っ越してきてから6年目。男の子一人がいます。一方、関口隼紀・聡子夫妻も子供ができたので、学園町の戸建て住宅に住みたいと引っ越してきました。北本さん家族と同じく三人の男の子がいます。

お互いにコロナ禍で交流はなかったのですが、コロナが終息に向かった頃、自由学園しのめ茶寮の「こっこ広場」の砂場でばったり会い、一緒に遊ぶようになりました。

ところで、話は変わりますが、学園町で知る人ぞ知る野菜づくりの名人が丸山公男さん。自由学園でも野菜づくりを指導していましたが、その家のすぐ前に引っ越して

きたのが、荒昌史さん夫妻でした。荒さんは、まちと人のつながりを考えるネーバーフッドデザインを提唱しています。住民がゆるやかなつながりを持つことによって豊かに暮らそうというものです。「地域のしがらみ」にとらわれることなく、それでいて、いざという時には助け合うことができる「人の輪」を作ろうということでもあります。荒さんは、現在、自治会の運営委員も務め、学園町の環境維持に尽力しています。

さて、丸山さんと近所付き合いが始まり、荒さんも丸山さんから野菜作りの手ほどきを受けるようになり、畑を借り、奥さんの愛子さんが農作業に汗を流しました。

またまた話が変わります。昨年1月、自治会主催の講演会「学園町誕生100年」が自由学園講堂で開催されました。学園町はじめ近隣住民の方々を対象としたもので、建築の勉強をしていて、まちづくりや学園町の変遷に興味を持っていた北本直裕さんと、奥様の晴香さんが参加。その時、講師を務めたのが荒さんで、ここで荒さんと北本夫婦が繋がったのです。そして、荒さんを介して北本



さんと丸山さんもつながりました。

一方、関口聡子さんの実家は東久留米市内。「私は畑で作業をしたことはありませんが、父が市民農園で作物や野菜を栽培しており、たまに遊びに行くことがありました。いろいろな人に出会えて楽しい思いをしました」と語ります。(実は聡子さんの父・中野五郎さんは、東久留米市が運営する市民農園の一つ浅間農園のリーダーを長年務めています。皆さんから名リーダーと慕われており、この記事執筆している私・浜名純も浅間農園を借りて栽培していたことがあり、その時はお世話になりました。ここにも思わぬつながりが……。)

そんな経緯を経て、丸山さんから北本さんに「近くの畑に空きが

できた」との話があり、北本さんが関口さんを誘って野菜作りがスタートしたというわけです。北本晴香さんが、これまでの経緯や作業の様子を「かわら版」に投稿してくれました。お読みください。

学園町に魅せられて 初めてのジャガイモ収穫 北本晴香

学園町に越してきてこの夏で6年目になります。子供ができ引っ越しを考えていた時に偶然学園町と出会い、こんなに緑豊かな場所子育てができたらしいなと思わずに住むことを決めました。

住んでみると緑豊かな街並みだけでなく、湧水が流れる落合川など想像以上の自然の中で子育てができる豊かさに驚かされました。そしてその中でも我が家の生活をより豊かにしてくれる1つが、この地域で育った美味しい野菜を食べられる事です。今では私の趣味は野菜の直売所巡りになっています。

そんなある時、学園町に住んでいる丸山公男さんを紹介して頂く機会がありました。丸山さんは自由学園の子ども達に野菜の育て方を教えていた方で、ご自身でも学園町に畑を借り野菜を育てています。運よくその畑に空きが出たので、同じく学園町に住む友

人の関口さん一家を誘い、畑での野菜作りを始めることになりました。

この畑は元学園町郵便局長の篠宮さんと、その友人である小野島さんのご厚意でもとて安価に使用させて頂いています。現在は私たちを含めて7区画9家族で野菜作りを楽しんでいます。

初めて育てたのはジャガイモです。今年の2月から堆肥や石灰などを入れて土づくりをし、畝を作り、種芋を植え、6月には約300個のジャガイモを収穫することができました。子ども達は宝探しのようにならぬようにジャガイモを掘り起こし大喜びしていました。

今この畑には、きゅうり、赤と黄色のミニトマト、中玉トマト、とうもろこし、枝豆、ナス、さつまいも、里芋、アスパラガス、パジル、みょうが、赤しそ、色んな種類の野菜が元気に育っています。6〜8月は夏野菜のきゅうり、ミニトマト、ナスがどんどん育ち、毎日のように収穫をしています。また11月にはさつまいもの収穫を計画しています。その後は秋野菜づくりにはいります。

週末は2家族みんなで畑に集まり、お父さん達は土づくりや草むしりなどの力仕事、お母さん達は苗の紐かけや植え付け、子供達は野菜の収穫をしながら虫探しも楽しんでいきます。

野菜が苦手だった息子も「自分の畑で獲れた野菜は好き！」と美

美味しく食べてくれるようになり、野菜作りに挑戦して良かったなど日々感じています。もちろん苦勞もありますが、自然との関わりがさらに増え、私たちの学園町での生活がより豊かなものになりました。

(追伸)

初めてのことなので野菜作りの本を片手に、丸山さんにもア

新野妙子・五小新副校長 情熱を持って全力で取り組みます



今年4月から、市立第五小学校

の新任副校長として着任いたしました、新野妙子(しんの たえこ)と申します。東久留米市に赴任するのは、初めての経験ですが、地域の皆様や児童、保護者、そして教職員の皆様に温かく迎え入れていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。毎日全力で取り組んでまいります。

私が教師を目指すきっかけとなったのは、小学校3、4年生の時の担任の先生に出会ったことです。その先生は、常に子ども達一

ドバイスを頂きながら。子供達はポットに白菜の種を蒔き育てています。芽が出てきてすくすく大きくなっており、こんな小さな芽が大きな白菜になるのかなと今から楽しみです。子供とは色んな畑を通り過ぎるたびに「あれは里芋の葉っぱだ！こっちはさつまいも！」と会話するのが楽しみになっています。

人ひとりの個性を尊重し、学びの楽しさを教えてくれました。特に印象に残っているのは、玉川上水の授業です。私たちは畑を掘ってミニ玉川上水を作り、先人たちの苦勞を実感しました。その先生は、教室での学びだけでなく、実際の体験を通じて学ぶことの大切さを教えてくれました。

また、二年生のとき、私はよく保健室に行く子でした。お腹が痛かったり、頭が痛かったり、体調不良を訴えていました。しかし、その担任の先生の優しさに触れ、保健室に行くことはなくなりました。その先生の優しさに感銘を受け、私も同じように子ども達に寄り添う教師になりたいと思うようになりしました。

大学4年生の時の教育実習では、社会科学で研究授業を行いました。授業の流れや準備に試行錯誤

していたところ、社会科学を専門としている教頭先生が相談に乗ってくださいました。その際、お借りした研究誌の中に、何と私が経験した玉川上水の授業が紹介されていたのです。目を丸くしました。担任の先生がどのような思いで、どのような工夫をしたのかを知り、感動しました。その発見は、私が受けた教育が、のちのちまで大きな影響を与えていることを実感させました。この経験は、私の教育に対する情熱をさらに強くし、教師としての道を進む決意を固めました。

そして、教師になって数年が経ったある日、所沢駅でその先生

生徒の未来の幸せのために 地域と共にある学校を目指して 市立南中学校 校長 若澤直樹

学園町の皆様には日頃から南中学校の子どもたちが大変お世話になっております。

南中学校では昨年度から地域の環境資源や文化的な資源を生かした教育活動の充実、そして地域にお住まいの方の協力を得ることで教育活動の広がりを目指した取組を進めています。

この取組は南中学校でのこれまでの地域との連携を踏まえ、地域での活動の中で、さらに子どもたちに自分に自信を持たせて自分を肯定し大切にできる気持ちである自

と何十年かぶりにばったり再会しました。久しぶりにお会いした先生は、変わらず優しく、私の成長を喜んでくださいました。この再会は、私が教師として歩んできた道のりを振り返る貴重な機会となり、改めて教育の素晴らしさを実感しました。

副校長となった今もその情熱は変わりません。東久留米市は緑が多く、落合川や南沢遊水池、竹林公園などの豊かな自然に恵まれ、体験を通じた活動がたくさんできそうに楽しみです。地域の方々にご協力をいただくこともあると思いますが、どうぞよろしくお願いたします。

己肯定感を高めることや、自身の周囲の社会を意識することで、その中で生活している実感から生まれる子どもたちの中の郷土愛や社会性を伸ばすことを願っています。

昨年度は茶道部や美術部、演劇部、科学部など部活動での地域での活動や学校外の方の力を借りての活動が行われました。生徒会ではフォトギャラリーという取組で地域の写真を校内で募集し、市役所などに展示して東久留米の素晴らしい風景を生徒から発信するこ

とに取り組みました。また、青少年健全育成協議会の小学生対象のお芋掘りやみなみちゃん祭りという活動に多くの生徒がボランティアとして参加しました。そのほかコロナ禍で途切れてしまっていた文化発表会などの学校行事や防災行事での地域の方との交流を復活し拡充することもできました。

今年度はそれらを今後に向けて、どう効果的に持続可能な形で進めるかを全職員で知恵を絞っているところです。

そのような中で、3年生は京都・奈良の修学旅行を終えての事後学習として、京都の文化財観光を柱としたまちづくりや現地肌で感じてきた課題を元に、私たちのまち東久留米のこれからの考え、中学生の視点でのまちづくりへの提案をそれぞれが発表するという学習をしています。昨年度の発表会には市長さんや地域の方にも来ていただき、子どもたちの真剣なま

ちづくりへの提案を大いに評価していただきました。この取組を今年度はさらに発展させ、南中学校の「総合的な学習の時間」として地域を学び、考えて、地域社会へ発信するという3年間を通しての取組にしようという計画を進めています。今年度の3年生は10月下旬に発表を計画しています。地域の皆様にも南中生の地域の一人としての提案をお伝えできればと考えています。



今年夏が長いと思ったり、冬も長くなりそうだとか。市場でも少しづつ秋色の花・枝が増えては来ましたが、まだまだ少ない気がします。

秋のおすすめは紅葉した枝物、色付いた実物（パフの実、唐辛子、サンキライ等）、ススキ、パンパスグラスなど穂、秋色の菊コスモス、吾亦紅、ネイティブフラワー（フロティア、ピンクッションなど）色々あります。

ネイティブフラワーは前にも取り上げたかと思いますがオーストラリアやアフリカ原産の花で、ワ

花だより③
秋色の季節到来
枝物や実物はいかが



立川まり

イルドフラワーとも呼ばれます。南半球の乾燥地帯で育つものが多いため暑さにも乾燥にも強く、2週間くらい持つものもあります。見た目がエキゾチックですがたくさん出回るのは秋なので、秋色の花・枝や実等と合わせると、季節ならではの楽しみ方ができます。

菊は通年出回っていますが、この季節は普段より色も種類も豊富です。黄、オレンジ、赤、茶、ピンポンマムといわれる丸い形の物、マーガレット状の平たい咲きかたをする物、大きい一輪咲き、小さい花がたくさんついているスプレー咲き、等々ともきれいで趣もあります。ぜひお試しを。毎年楽しみにしている金木厚、今年はいつ頃香ってくるでしょうか。

（フローラルライフ）立川まり
042-423-8646

二金会コンサート

日時 1月6日(水) 開場13時30分 開演 14時
場所 しのめ茶寮1階のカフェ
会費 3000円(ワンドリンク付き)

ゲスト 古賀久土さん(ピアノ弾き語り) カウンターテナー
今井美樹さん(二胡) 藤枝真子さん(アルパルハープ)
問い合わせ・申し込みは学園町2丁目の宮崎一江さん(電話:自宅042-422-7748 携帯090-4052-9771)へ。

おしらせ

《南部地域センター》

各イベント問合せは南部地域センター(指定管理者(株)セイウン) 042-451-2021
Mail Higashikurume_nanbu@s-seiun.co.jp

★《第3回みんなの交流祭》
*今年も南部地域センターで日頃活動されている皆様の成果発表・交流の場としてみんなの交流祭を開催します。

- 【10月18日(金)】
※社交ダンス(ブルーローズ)
・13:00～16:00 階講習室
- 【10月19日(土)】
※ステージ発表 2階講習室
・10:00～16:30 合唱・演奏・フラダンス・フラメンコ・子供舞踊など
- ※フリーマーケット ピロティ
・10:00～16:00
・様名の物産・なんぶ手芸の会・キッチンカーなど
- ※介護予防・脳トレ体操
・10:30～11:30 地区センター集會室・無料体験コーナー先着15名迄
- ※展示(10月19日～20日1階ロビー)
・10:00～16:00 書道・写真・篆刻・切り絵など
- 【10月20日(日)】
※ひとり人形芝居(親子で楽しめる日本語話)
- ・10:30～11:15 階講習室
- ※バンド演奏クォーターノーズ
・トランペット・トロンボーン・サクソフーン・ギター・唄

★【ヨガ教室関係4件】
①「ヨガ the 男塾！」
・10月4日(金)・11日(金)・11月1日(金)・8日(金)・15日(金)・29日(金) 19:00～20:00
・定員:15名
・参加費:700円(当日払い)
・持ち物:動きやすい服装・水分補給。首にかけられるタオル
・講師:ヨガイストラクター中村陽子

②「女性のためのヨガ」
・10月6日(日)・20日(日)・11月3日(日)・月17日(日)・12月1日(日)
13:30～14:30 参加費・持ち物・講師については、上記①と同じ
③「シニアヨガ」
・10月11日(金)・25日(金)・11月8日(金)・22日(金)
1部 10:00～11:00
2部 11:30～12:30
・対象:65歳以上男性も大歓迎
・定員:各回6名初心者限定
・参加費:700円(当日払い)
・持ち物:ヨガマット・水分補給 動きやすい服装・厚手のバスタオル・汗拭きタオル
・講師:ヨガイストラクター AZUSA

④「美ヨガ」
楽しくアンチエイジング!
・10月13日(日)・27日(日)・11月10日(日)・24日(日)・12月8日(日)
1部 10:00～2部 11:30～
・定員:各回10名
・参加費・持ち物・講師については、上記③と同じ
★【ヨガ教室以外のイベント】
①「なんぶおしゃべりサロン」
・10月6日(日)・11月3日(日)・12月1日(日)13:30～15:30 音楽室
・参加費100円
・定員10名

自由に話し合い他の人の話も聞きましよう!ザックバランをおしゃべりで心のコリをほぐしまししょう!どなたでもご自由に参加下さい。
②「バクさんとうたおう!」
・10月27日(日)・11月17日(日) 開場13:15 開演13:30～
13:30～15:30 講習室
・定員60名
・参加費500円
・持ち物 筆記用具
③終活セミナー
なくしまししょう!自分と家族の心配・後悔・・・今だから出来る事、一緒に準備しませんか!?
・11月12日(火)
14:00～16:00
・定員:12名(先着順)
・参加費:無料
・講師:桂宗一郎(ライフプラン

ナー)
④フラワーアレンジメントでクリスマスツリーづくり
・11月24日(日)
13:00～15:00
・定員:12名(先着順)
・参加費:800円(材料費)
・講師:海老沢まり
★【その他催し】
※まあぶるミニバザー
就労系障がい者施設まあぶるのバザー。地域の方々より寄付いただいた品々、掘り出し物がぎっくみつかるとよ!
・9月24日(火)
13:30～15:00
・10月22日(火)
13:30～15:00
・バザー商品:衣類・装飾品・食器・本・雑貨等
・問合せ:(社福) すぎのこまあぶる 042-473-5896

《自由学園》
※イベントの問い合わせ先は自由学園広報室 TEL042-428-2123 email:kh@jiyu.ac.jp URL:https://www.jiyu.ac.jp 詳細・お申込みは自由学園のHPからお願致します。
■『Jiyu1123』
一次の100年に向けて、まるっと楽しむ秋の自由学園一会場:自由学園キャンパス内 日時:11月23日(土・祝) 10:00～15:00
「Jiyu1123マーケット&ワークショップ」「南沢カフェ」「かるた大会」「友の会友愛セール」「講演会」など
入場予約不要
イベントの詳細・お問い合わせ先自由学園 TEL:042-428-4232
■U12子ども広場
日時:各月1回程度 10:00～13:00
自由学園のキャンパスを使って、ご家族でのんびりお過ごしください。昔遊び、楽器演奏、クッキー販売なども企画しております。詳細決まり次第HPに公開します。

■自由学園幼児生活団 入園説明会
日時:10月5日(土)10:00～11:45
場所:自由学園幼児生活団幼稚園保育の様子や、食事について説明いたします。お茶タイムを挟みながら、のんびり子育てや幼稚園選びについてお話しませんか?

■自由学園幼児生活団 幼稚園を体験しよう!
日時:10月17日(木) 10:00～11:30
園で大切にしている“遊び”を親子で実際に体験していただけます!ご希望の方は個別相談もごさいます。15組限定。
対象:幼稚園に興味のあるご家庭

■自由学園幼児生活団 園庭開放 各回10組限定
イベント①:「園絵具や木工で遊ぼう!」
モノをつくったり、絵をかいたり...思い思いに楽しみましょう!
日時:10月21日(月)10:00～11:00
イベント②:「自由学園キャンパスへ行こう!」
東京ドーム2個分の敷地をお散歩しましょう!
日時:10月28日(月)10:00～11:00

■自由学園初等部 じゆうの広場～学びの発表会～
日時:11月30日(土) 時間未定
初等部の至る所で児童たちによる発表が行われる一日です。大人に与えられたテーマではなく、各自がテーマを決めて発表を準備しています。自由学園初等部ならではのイベントです。
対象:初等部にご興味ある方
■自由学園中等部・高等部 梨花祭(中高文化祭)
日時:11月23日(土)10:00～16:00
今年Jiyu1123と同時に開催です。多くの方のご来場をお待ちしております。